

2025年12月期（2025年度） 上半期 決算説明会

決算説明会 開催日：2025年8月19日

決算説明会資料 公開日：2025年8月18日

artience 株式会社

目次

- 決算のポイント
- 中期経営計画artience2027の進捗

- 2025年度上半期 連結業績概況・事業セグメント別実績概況
- 2025年度下半期 事業セグメント別見通し

(参考) 連結BS・PL概況
事業別・地域別セグメント実績
主な製品・用途

2025年度 上半期 連結業績

(単位：億円)

	24年度上半期実績	25年度上半期実績	増減率(%)	25年度通期計画	
				期初	8/8修正後
売上高	1,723	1,687	▲2.0	3,700	3,550
営業利益	106	94	▲11.2	220	190
経常利益	124	86	▲30.2	210	180
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	94	55	▲41.5	175	155
営業利益率	6.1%	5.6%	▲0.5 (point)	5.9%	5.4%
海外売上高比率	56.0%	54.2%	▲1.8 (point)	—	—
ROE	—	—	—	7.0%	6.0%

計画の前提となる指標と実績

		24年度 上半期平均	25年度 上半期平均	25年度 前提
為替	1 USD	¥154.1	¥147.5	¥150.0
	1 EUR	¥166.1	¥162.2	¥155.0
	1 RMB	¥21.3	¥20.3	¥21.0

		24年度 上半期平均	25年度 上半期平均	25年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥75,750	¥69,850	¥70,000

決算のポイント

2025年度上半期業績

- **FY25上半期概況：減収減益。好条件の前年に比較し、ポリマー、パッケージセグメントは堅調も、CNT分散体が低調により減益。**
 - **海外**は中国のディスプレイ向け光学粘着剤やモバイル端末向け機能性フィルムが好調。**国内**は一部需要増や価格改定で増収。**LiB用CNT分散体**は売上回復基調も赤字が拡大。**CF用材料**は価格改定を一部実施も、中国の需要増取り込めず減収。**北米関税**の影響は軽微も、メキシコ生産品は市場様子見で販売が減少。
 - **経常利益**：円高により為替差損が発生、差益であった前期と比べ営業外収支が悪化。
- **自己株式の取得**（100億円もしくはは450万株上限）および**自己株式の消却**（300万株、消却前発行済株式総数の5.63%）を発表。

2025年度通期見通し

- **通期業績予想：CNT分散体が売上低調の中、先行投資負担が増え、営業利益は200億円を下回る見込み。**
- **事業見通し：**

海外はインド・東南アジア中心に**成長事業**（接着剤、リキッドインキなど）の伸長が続く見通し。中国の光学粘着剤は、勢いは落ち着くものの大きく伸長する見込み。国内はコストダウンと価格改定を続け利益を確保。**米国関税**による市況や為替動向は懸念材料。**CF用材料**は厳しい事業環境が続く。**LiB用CNT分散体**は欧州は需要回復、中国大手向けの出荷で売上拡大も、売上は50億円程度の見込み。印刷情報関連は、紙の価格高騰で需要低迷。

2025年度：中期経営計画の進捗

基本方針（1） 高収益既存事業群 への変革

- **成長事業**：前中計で実施した海外拠点の設備投資の稼働が寄与し、包装関連分野（リキッドインキ、粘着剤、ラミネート接着剤、機能性インキなど）を中心に利益拡大中。粘着剤は2026年に新工場がインドで稼働、リキッドインキは追加投資を予定。
- **収益基盤事業、構造改革・戦略再構築事業**：国内オフセットインキ事業は構造改革や価格改定推進により赤字縮小。国内の着色剤やリキッドインキは品種統合や価格改定進んだ。

基本方針（2） 戦略的重点事業群 の創出

- **モビリティ・バッテリー関連**：LiB用CNT分散体は、EV市場停滞の中、投資を厳選し進めた。負極やLFP向けの開発も加速。全体計画後ろ倒しの中、確実に事業を進めていく。
- **ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連**：
 - ディ스플레이関連は中国シフトでの需要増を取り込み、光学用粘着剤が大きく伸長。
 - CF用材料は中国生産のための販売JVを設立し、技術供与により2025年内の生産開始を見込む。
 - 光半導体向け材料は開発が進み、実績化が進む。

基本方針（3） 経営基盤の変革

- **企業価値向上**に向けた**資本効率化**を推進
追加の自己株式取得（100億円もしくは450万株上限、取得期間25年5月12日～26年5月11日）および自己株式の消却（300万株、消却前発行済株式総数の5.63%）を発表。
- **独立社外取締役比率の向上**（50%→64%）により、取締役会の監督機能を強化
- **サステナビリティビジョンasv2050/2030**の推進

ROE改善、PBR向上へ

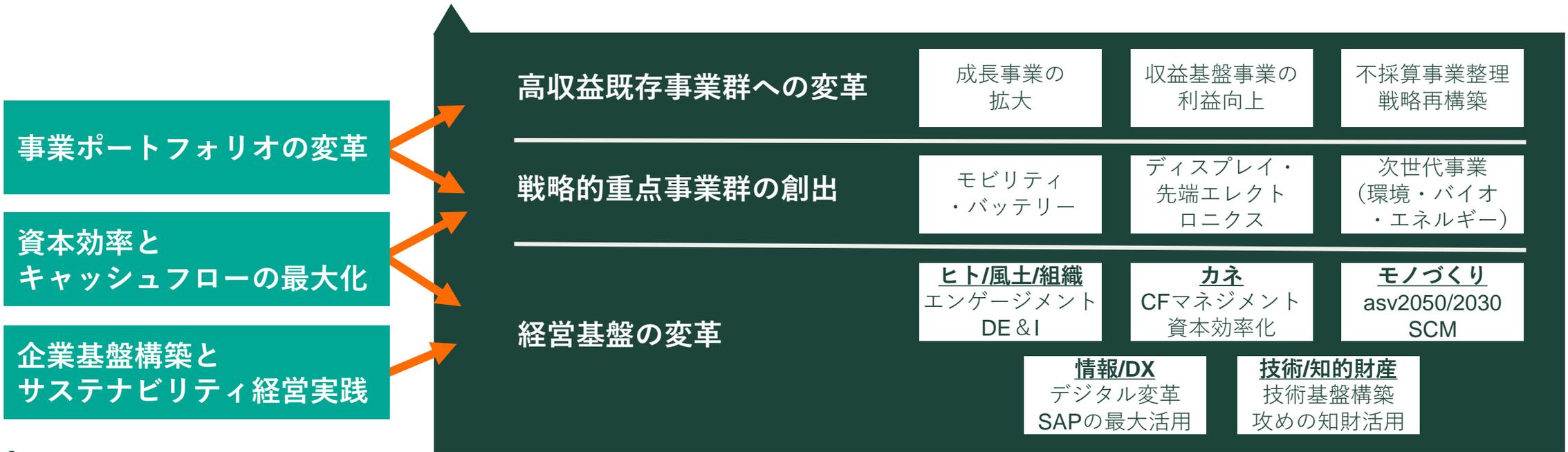
経営計画 artience2027/2030 “GROWTH”

～2025年12月期の通期見通しを修正（8月8日）～

〔目指す姿〕
心豊かな未来
持続可能な社会
企業価値最大化

	2023 12月期	2024 12月期	2025 12月期	2026 12月期	2029 12月期
売上高	3,221億円	3,511億円	3,700⇒3,550億円	4,000億円	5,000億円
営業利益	134億円	204億円	220⇒190億円	250億円	
営業利益率	4.2%	5.8%	5.9⇒5.4%	6.3%	
ROE	4.2%	7.3%	7.0⇒6.0%	8.0%以上	10.0%以上

artience2027

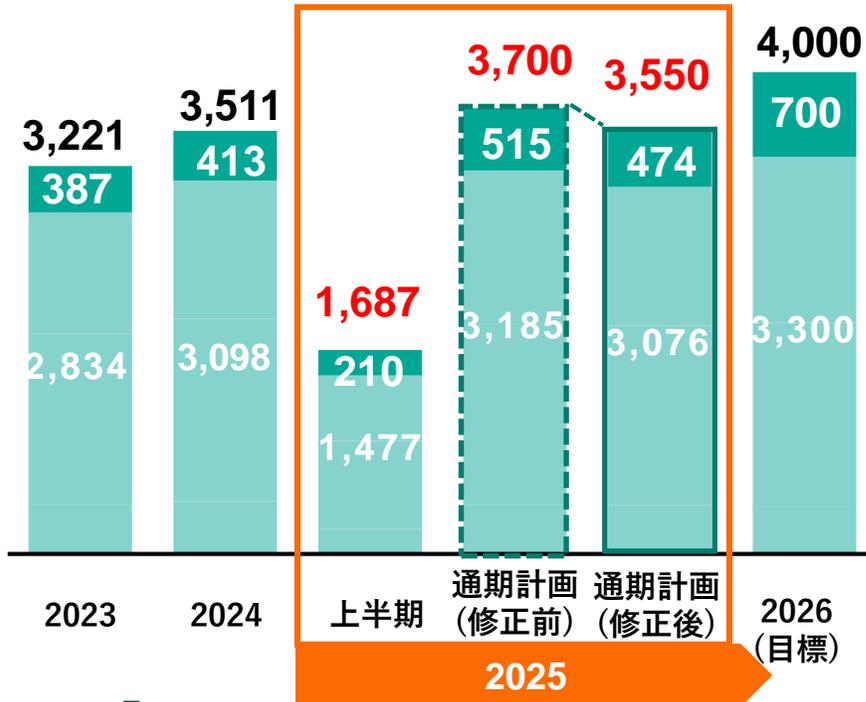


2025年度上半期：中期経営計画の進捗 - 事業ポートフォリオ変革（基本方針1・2） -

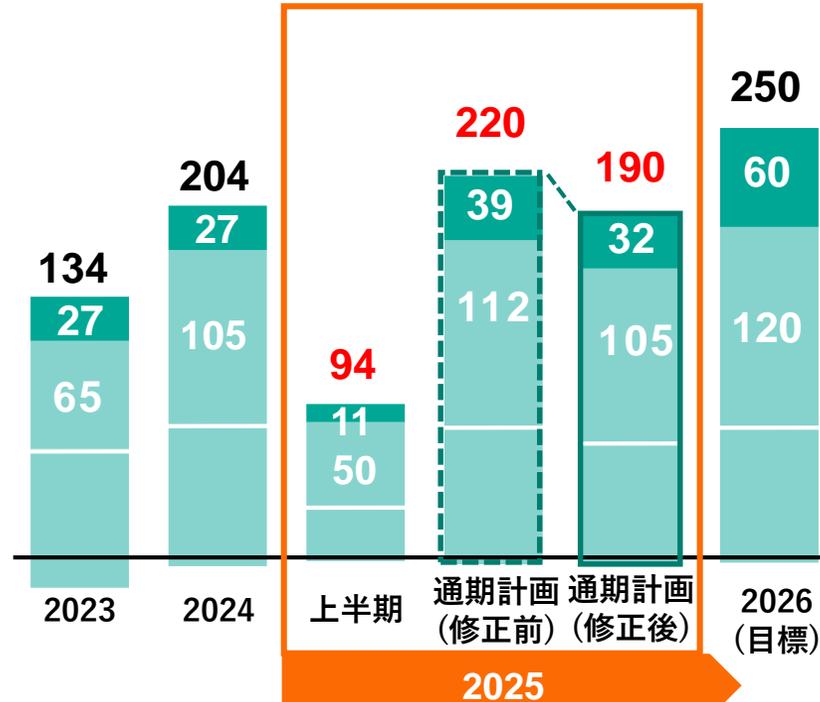
成長事業も上半期は前年並み、戦略的重点事業はCNT分散体の受注が遅れ、25年度の目標を修正。

- 高収益既存事業群：成長事業はパッケージ関連が伸長、トルコで新工場が稼働、インドは更なる投資により収益の拡大を目指していく。
- 戦略的重点事業群：ディスプレイ用は、光学粘着剤が中国市場での売上拡大、CF用材料は中国でJV設立、モビリティ・バッテリー関連はCNT分散体の市況回復が鈍く、売上目標を修正し、設備投資も減額しながら推進。

売上（億円）



営業利益（億円）



基本方針 (2)

戦略的重点事業群の創出

戦略的重点事業

モビリティ・バッテリー、
ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業

基本方針 (1)

高収益既存事業群への変革

成長事業

収益基盤事業

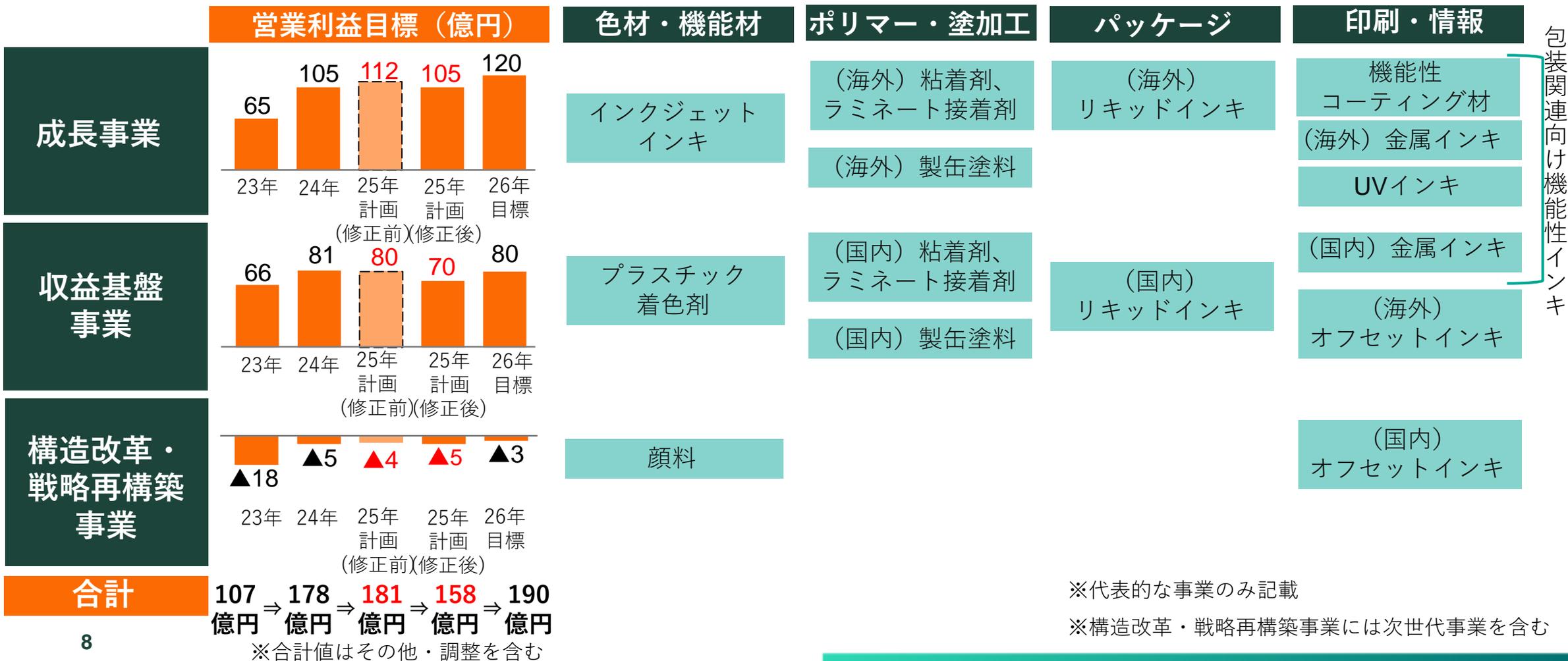
構造改革・戦略再構築事業

※合計値はその他・調整を含む

基本方針（1） 高収益既存事業群への変革

■ 25年度の高収益既存事業群の各事業の目標値を修正

- 25年度進捗：好調の昨年に比較すると伸びは鈍化も、製缶塗料や機能性コーティング材などは伸長。着色剤は、海外で太陽電池向けが減少。顔料やオフセットインキ（国内）は黒字継続。



※代表的な事業のみ記載

※構造改革・戦略再構築事業には次世代事業を含む

グローバル市場の成長取り込み（ポリマー・塗加工、パッケージ）

- インドの成長著しく、昨年の粘着剤の増強に続き、リキッドインキの追加投資を計画。トルコは新工場が稼働。
- 前中計で実施した海外の設備投資やタイのM&Aが寄与し、アジア中心に伸長中。

■ アジア市場の見通し

- 包装関連市場は人口増加に比例し需要拡大。
- 経済発展に伴い高品質化や環境対応ニーズの増加、工業材の現地生産化が進展。

■ 当社の強み

- 長年にわたり構築した強固なネットワークによる購買の最適化、ブランド力により競争力を維持。
- 現地ニーズに即したスピーディな開発体制。

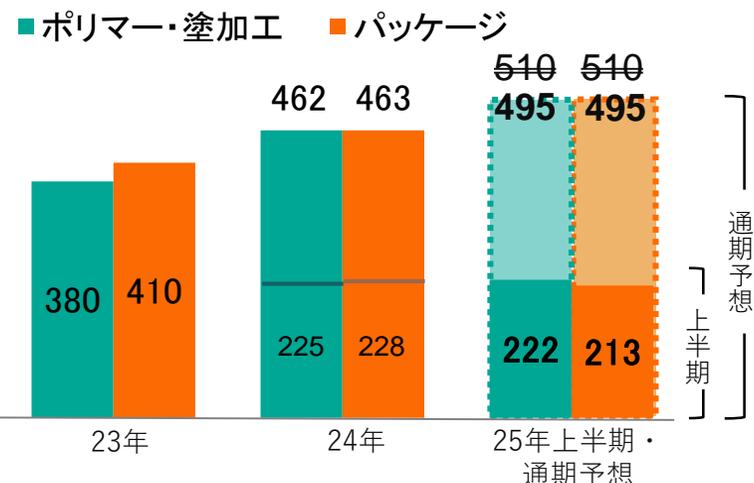
■ インド・グジャラート工場



■ 稼働したトルコ新工場



<ポリマー・塗加工、パッケージの海外売上の推移※> (億円)



※海外の実績は地域間消去を反映していません。
 ※8月8日時点の修正値を反映。

モビリティ・バッテリー関連事業：LiB用CNT分散体①

■ FY25上半期概況と拠点別トピックス：

売上18億円と復調の兆し。中国大手向けは、欧州車向け以外に中国車向けも対象となるよう活動。中国ローカルの競合を数社確認。負極向けの開発推進、LFPの高機能化を狙ったCNT分散体のサンプル提供・評価を開始。

- 米国拠点：SKオン向け低調。新規顧客向け出荷が始まる。内定先1社の電池生産が市況悪化で見直し。
- ハンガリー拠点：SKオン向け好調で、生産体制強化。2026年の新規顧客に向けた増設を実施中。
- 中国珠海拠点：中国大手向けは、下期から本格的な出荷が開始予定。欧州車の他、中国車向けも対象に。
- 日本拠点：トヨタバッテリー向けのHEV用は順調に推移。その他の取り組み先で計画遅延も。

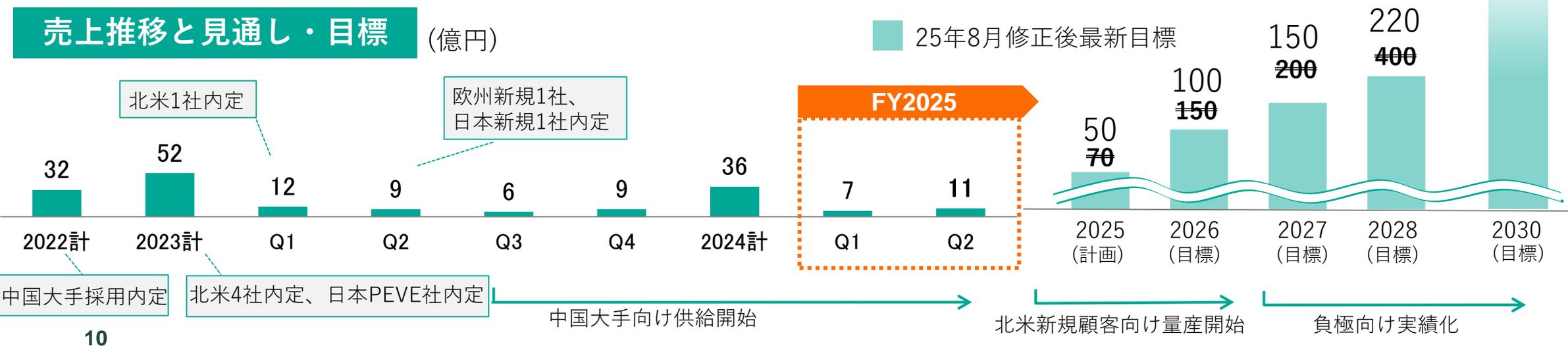
■ 今後の見通し：

中国大手向けは出荷増の見込みも、中国内での競争環境に応じたプロダクトミックスの変更や、日本国内の顧客の計画変更により、当初計画の売上70億円には届かず50億円と見込む。北米では、内定1社の工場建設が一時中断も、新規の内定獲得を目指す。負極用やLFP用途での評価が進み、2027年頃からの実績化を見込み設備投資の検討を実施のほか、全固体電池向けの開発も継続。これらを鑑み、今後の目標値の修正を行う（24年11月以来）。中計3年間の設備投資額は市況や顧客動向、生産プロセスの最適化検討も行い、適宜延長や見直しを行う。

売上推移と見通し・目標

(億円)

25年8月修正後最新目標



モビリティ・バッテリー関連事業：LiB用CNT分散体②

【21年～25年（CAGR）見込み】

【25年～30年（CAGR）予想】

BEV
出荷数*

+25%

*当社調べ

当社売上高

+34%

BEV
出荷数*

+13%

*当社調べ

当社売上高
目標

+40%

■ 高容量化、急速充電性確保のため、シリコンを負極に添加。導電性確保のために、CNTの利用がはじまる。

■ LFPの高出力化のため、導電助剤にCNTの活用がはじまる。

■ 欧米は三元系が90%以上を占め、今後の拡大が見込める。

電解質	EVのトレンド	車載用電池のニーズ	正極材		負極材	
			活物質	導電助剤	活物質	導電助剤
液体	★★ 現行ローエンド	低容量・低コスト	LFP	CB/CNT	黒鉛	-
	★ 次世代ミドルエンド	中容量・低コスト	LMFP	CNT		
	★★★ 現行ハイエンド	高容量・高コスト	NCA/三元系 (ハイニッケル NCM)		黒鉛	-
	★★★ 次世代ハイエンド	超高容量・中コスト・ 急速充電	三元系 (安価NCM)		黒鉛・ SiO _x /SiC	CNT
全固体	★ 超ハイエンド	超高容量・安全性・ 超急速充電	三元系		CB/CNT	黒鉛

11 ★ 当社CNT分散体の売上期待度合い

ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業：周辺材料群や半導体関連材料を拡大

■中国シフトや競争環境の激化に対応し、中国内にJVによる生産拠点を確保しシェア拡大へ。

2026年の営業利益の目標を、50億円から60億円へ変更。

ディスプレイ

✓中国市場でシェア拡大し収益を確保、次世代向け材料も展開。

CF材料

- 26年以降は、中国JVでレジストインキの生産を本格化させ、ビジネスモデル転換により中国シェア拡大と中小型の販路拡大を目指す。

光学粘着剤

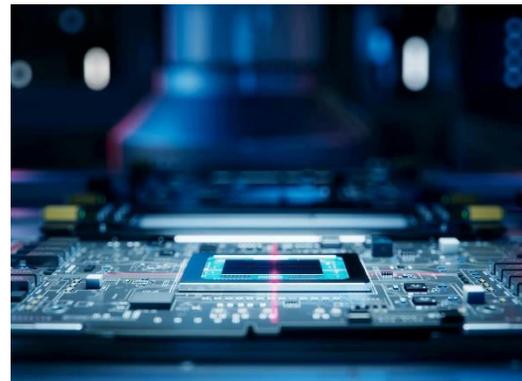
- マーケットの中国シフトに対応し伸長。グループ間の連携で生産キャパの不足に対応。
- 車載向け高耐熱付加価値品を展開。
- 環境配慮ニーズに対応するバイオマス粘着剤を拡大。

先端エレクトロニクス

✓半導体向け材料を中心に新規材料を拡大、開発品の評価を推進。

センサー (光半導体) 半導体 関連材料

- 次世代センシング用材料の拡充。
- データセンター等で利用される低誘電樹脂の実績化と、FPC向けに培ったシート技術応用材料の展開を加速。



<ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業の営業利益推移>

(億円)

2026年営業利益
50⇒60億円目標へ



ESGトピックス

E

サステナビリティビジョンasv2050/2030達成に向けて

- 中期経営計画とサステナビリティビジョンに連動した新たなマテリアリティを策定、社内外周知・浸透推進。
- 国内外複数拠点において再生エネルギー由来電力の導入や太陽光発電設備を追加導入（24年度以降：ベルギー、天津、上海、富士、守山等）。
- 脱炭素に向けた施策 ロードマップの策定カバー率向上（グローバル）。（23年60%⇒24年88%、25年度見通し93%（CO2排出量ベース）。

S

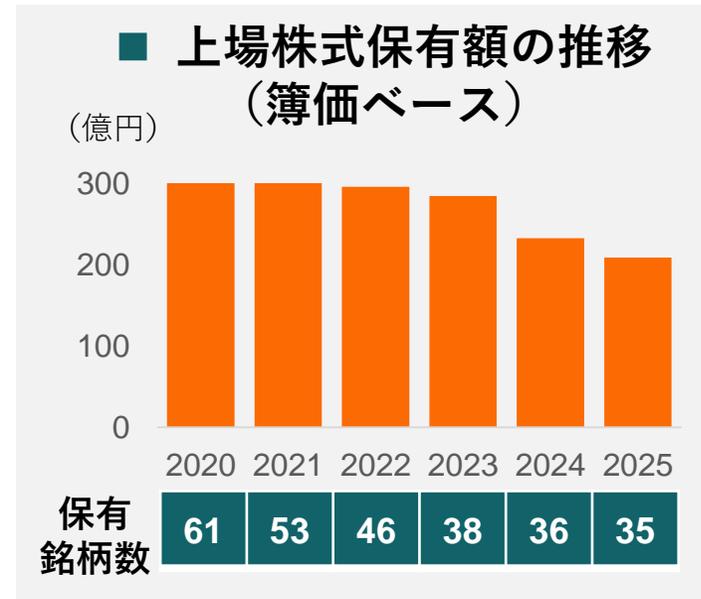
エンゲージメント向上、DE&I実現に向けた施策の推進

- 人的資本の強化のため、エンゲージメントサーベイを2年連続で実施。海外拠点での調査拡充。外国籍人材の開発・マーケティング部門での採用拡大（実績7名）。25年新卒女性採用比率(41.2%)。ブランド浸透に向け、CEOが国内外の拠点での座談会開催（25年6か所）。

G

資本効率性向上や株価を意識した経営への取り組み

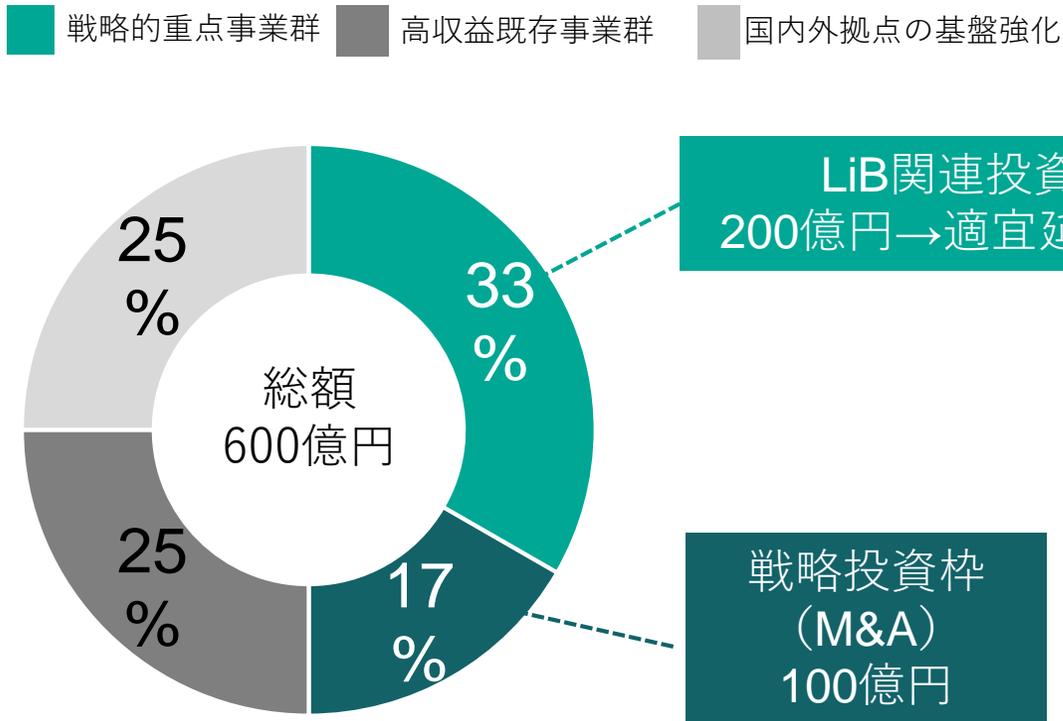
- 自己株式の消却^{※1}、自己株式取得^{※2}、保有株式削減の継続（24年度95億円売却）。
- ガバナンス体制の強化、ROEを重視した経営。独立社外取締役比率を向上させ取締役会の監督機能強化（25年3月～）。取締役報酬制度へのROE達成度の組み込み検討、SR・IR活動の強化。



設備投資計画の進捗

- 本中期経営計画では3年間総額600億円の設備投資を計画。LiB関連投資は、市況や顧客動向、生産プロセスの最適化検討も行い、適宜延長や見直しを行う。100億円とした戦略投資枠は主にM&Aの費用として配分。

中期経営計画3年間総額 設備投資計画の配分



2025年度 設備投資計画・減価償却費

	2025年度上半期 (実績)	2025年度通期 (計画)
設備投資*	83	158
減価償却	64	130

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース

■ 主要な設備投資

LiB用分散体向け

2024年度：62億円、

2025年度：71億円→19億円へ減額し、
次年度以降へ持ち越し

2024年度、2025年度その他：

インド粘着剤追加、トルコ新工場、ポリマーパイロット棟、センサー、光学粘着剤など

目次

- 決算のポイント
- 中期経営計画artience2027の進捗

- 2025年度上半期 連結業績概況・事業セグメント別実績概況
- 2025年度下半期 事業セグメント別見通し

(参考) 連結BS・PL概況
事業別・地域別セグメント実績
主な製品・用途

2025年度 上半期 連結業績

(単位：億円)

	24年度上半期実績	25年度上半期実績	増減率(%)
売上高	1,723	1,687	▲2.0
営業利益	106	94	▲11.2
経常利益	124	86	▲30.2
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	94	55	▲41.5
営業利益率	6.1%	5.6%	▲0.5 (point)
海外売上高比率	56.0%	54.2%	▲1.8 (point)
ROE	—	—	—

25年度通期計画	
期初	8/8修正後
3,700	3,550
220	190
210	180
175	155

5.9%	5.4%
—	—
7.0%	6.0%

計画の前提となる指標と実績

		24年度 上半期平均	25年度 上半期平均	25年度 前提
為替	1 USD	¥154.1	¥147.5	¥150.0
	1 EUR	¥166.1	¥162.2	¥155.0
	1 RMB	¥21.3	¥20.3	¥21.0

		24年度 上半期平均	25年度 上半期平均	25年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥75,750	¥69,850	¥70,000

2025年度上半期 連結業績サマリー

■ **減収減益**：為替など好条件の前年と比較し、成長事業は堅調も、CNT分散体が低調で減益。

売上

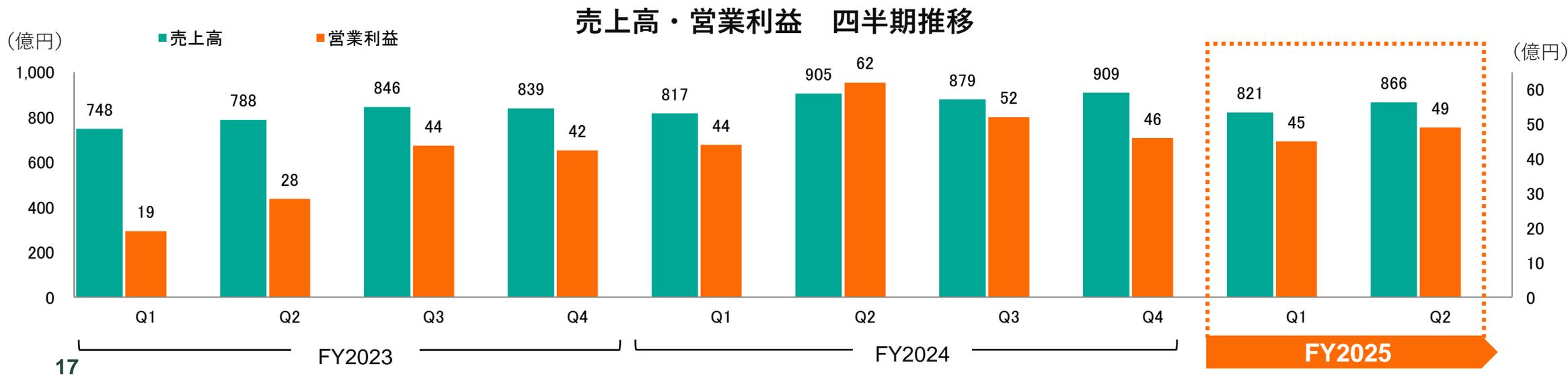
海外は中国のディスプレイ用粘着剤や機能性フィルムが好調も、CF用材料は中国の需要を取り込めずに減収。CNT分散体は、欧州回復の基調も、北米や中国は出荷が進まず。国内のパッケージ関連は、一部需要増や価格改定で増収。

営業利益

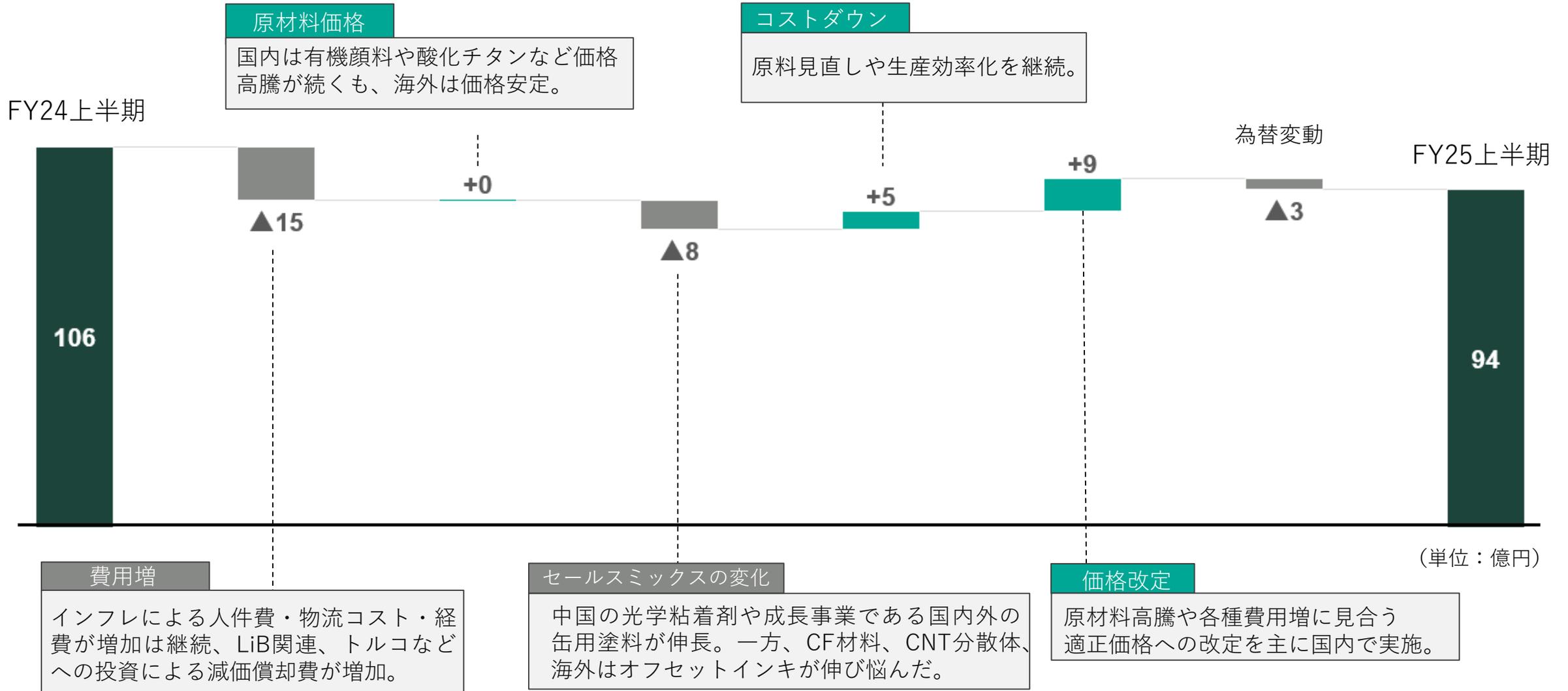
国内はコストダウンと価格改定を継続。CF材料は価格改定を実施も、中小型向け出荷進まず減益。CNT分散体も、低調により赤字が拡大。海外は成長事業がインド・東南アジアで堅調も、印情関連は、紙価格の高騰などで全般的に振るわず。

経常利益

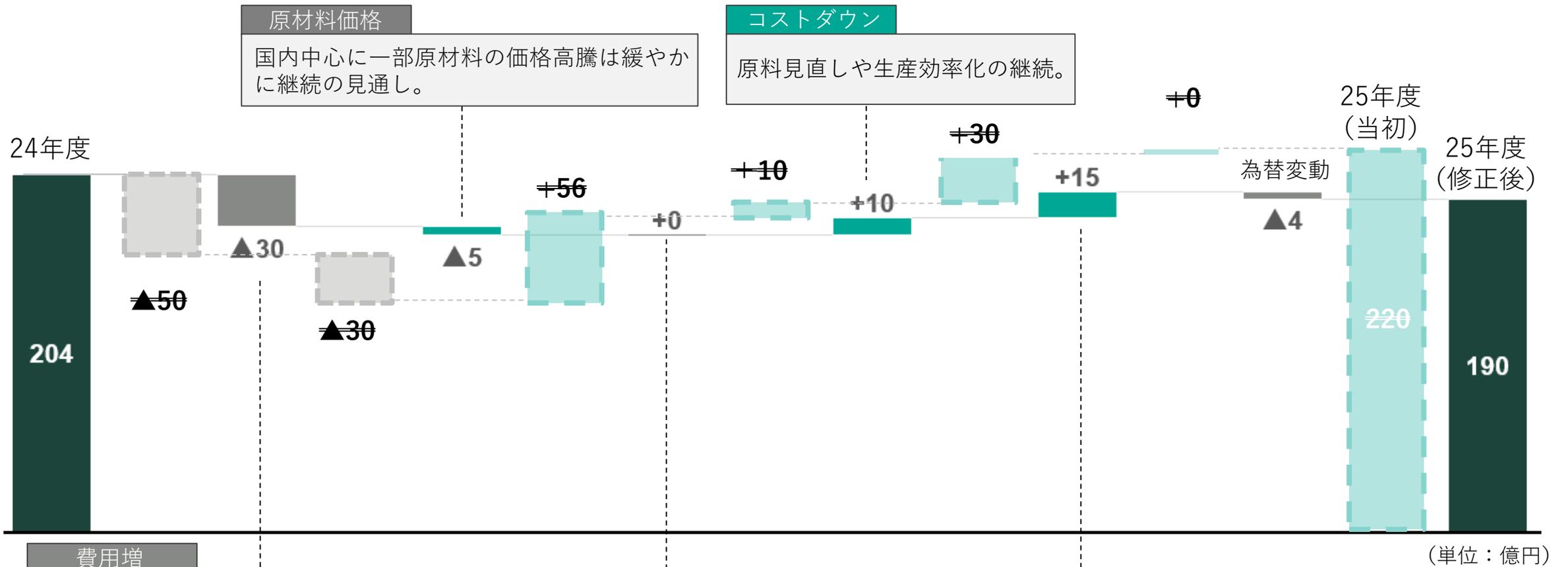
円高により為替差損が発生、差益であった前期と比べ営業外収支が大幅に悪化。



2025年度上半期 営業利益の増減要因分析



(参考) 2025年度 営業利益の増減要因見通し (2025年2月20日発表→8月8日修正後)



費用増
LiB関連など成長分野への積極投資や新設備・新拠点の稼働に伴う減価償却費の増加、人件費・物流コスト・経費の増加。当初見込みとの差は、物量減による変動費減や減価償却費減による。

売上拡大
中国の光学用粘着剤や、インド・東南アジアを中心とした包装関連材料などが拡大も、CNT分散体、CF材料、着色剤、海外のUVインキなどは期初見込み下回る。

価格改定
主に国内で原料高騰と各種費用増加に見合う価格改定の継続。

2025年度上半期 事業セグメント別実績概況

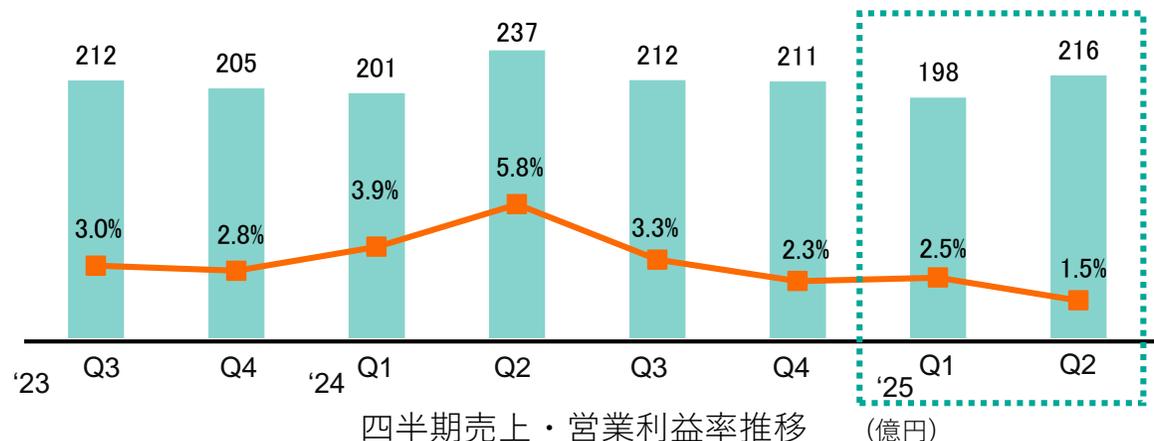
	24年度 上半期実績 (億円)		25年度 上半期実績 (億円)		増減率(%)		24年度 通期実績 (億円)		25年度計画 期初計画 (億円)		25年度計画 8/8修正後 (億円)	
	売上	営業 利益	売上	営業利益	売上	営業 利益	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
色材・機能材	438	22	414	8	▲5.6	▲62.5	861	34	900	39	890	25
ポリマー・塗加工	426	35	438	37	2.8	5.3	885	72	950	78	920	75
パッケージ	443	25	441	25	▲0.6	▲0.7	915	54	975	59	930	54
印刷・情報	407	25	388	21	▲4.8	▲16.9	833	49	855	51	800	45
その他・調整	8	▲1	7	3	▲4.6	-	16	▲4	20	▲7	10	▲9
連結	1,723	106	1,687	94	▲2.0	▲11.2	3,511	204	3,700	220	3,550	190

2025年度上半期 事業セグメント概況（色材・機能材）

■ 売上/営業利益 減収減益。LiB用CNT分散体はQ2回復基調も、全般的に低調に推移。

実績	24年度上半期 実績	25年度上半期 実績	YoY 増減率(%)	25年度通期 計画 (8/8修正後)
売上	438	414	▲ 5.6	890
営業利益	22	8	▲ 62.5	25

(億円)



YoY売上増減	概況
CF用材料 ▲7.0%	CF用材料は、中国の補助金政策効果や米国関税前の駆け込み需要があるも、ローカルメーカー台頭もあり数量が伸びず、台湾の中小型の回復も鈍く減収。国内外の顧客向けに価格改定を進めた。センサー用途は順調に推移。
着色剤 ▲3.8%	国内は増収増益、東南アジアの家電、OA関連は好調。中国の太陽電池用や北米の自動車関連が低調で減益。
顔料 ▲8.2%	前年までのコストダウンや価格改定、輸入原材料の値下がりに加え、販促効果なども寄与し増益継続。
その他 ▲6.8%	インクジェットは商業印刷、ラベルなどで堅調。LiB用CNT分散体は欧州は回復基調、中国大手向けは低調。北米も数量は回復基調も、内定先1社の生産計画が一旦中断に。負極向けなどの新たな開発を加速。

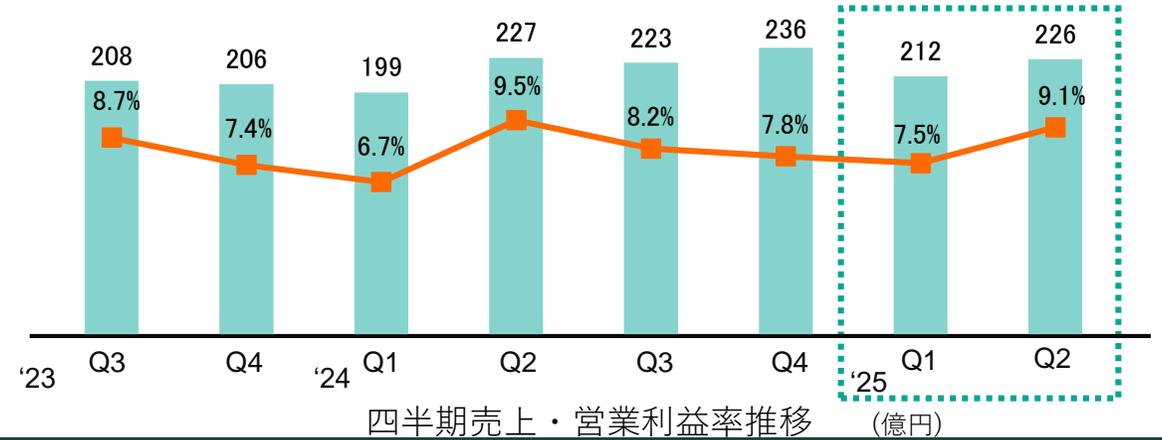
■ 25年下期見通し CF用材料はセンサー用の収益寄与を見込む。着色剤は、コストダウンや国内・東南アジアの拡販で増益を目指す。CNT分散体は、欧州需要伸長で増産対応中。中国大手向け本格販売を開始予定。

2025年度上半期 事業セグメント概況（ポリマー・塗加工）

■ **売上/営業利益** 増収増益。国内は収益悪化も、海外で中国ディスプレイ向けの光学粘着剤や缶用塗料が好調。

実績	24年度上半期 実績	25年度上半期 実績	YonY 増減率(%)	25年度通期 計画 (8/8修正後)
売上	426	438	2.8	920
営業利益	35	37	5.3	75

(億円)



YonY売上増減	概況
塗工材料 +7.6%	機能性フィルムは、モバイル端末の新モデル向けや、中国での拡販により増収も、為替や原料高で減益。昨年実績化の半導体関連の開発品も出荷継続。
接着剤 +0.5%	国内は価格改定、原料のサプライチェーン見直しを進めるも、ラベル用の需要低迷などで増収も減益。海外は、中国のディスプレイ向け光学粘着剤が大幅伸長し利益を牽引。ラミネート接着剤は包装用が国内で堅調に推移も、輸出向けが一部地域で仕事量の減少の影響を受けた。工業用はリチウムイオン電池向けが伸び悩む。
塗料樹脂 +5.4%	缶用塗料は、国内はQ1の駆け込み需要や拡販効果もあり増収。海外ではタイの飲料缶用の拡販、食缶用の需要増により伸長し、トルコもシェア向上により物量確保。半導体関連の低誘電樹脂が実績化。

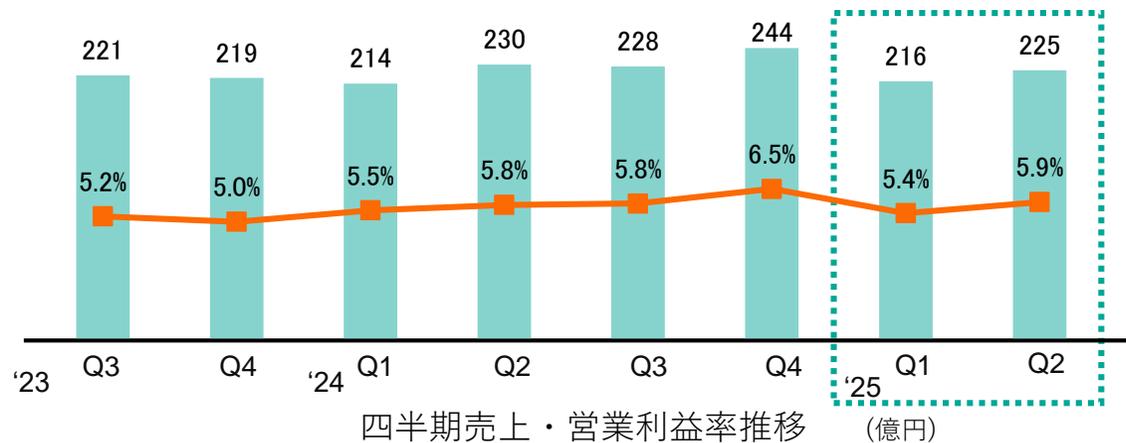
■ **25年下期見通し** 中国家電補助の対象に高価格帯のモバイル端末が加わり、機能性フィルムはQ3にピークを迎え、堅調の見通し。中国光学粘着剤の需要は一段落も、接着剤全般は堅調な推移を見込む。

2025年度上半期 事業セグメント概況（パッケージ）

■ **売上/営業利益** 売上・営業利益ともに前年並み。国内は堅調、東南アジア・インドが好調、トルコは低調。

実績	24年度上半期 実績	25年度上半期 実績	YoY 増減率(%)	25年度通期 計画 (8/8修正後)
売上	443	441	▲0.6	930
営業利益	25	25	▲0.7	54

(億円)



	YoY売上増減	概況
国内 リキッド インキ	+3.0%	増収増益。国内はコメ関連、飲料、冷凍食品、ペットフードなど食品包装用が好調、拡販によりシェア伸長。原料や物流費の高騰も、品種統合による生産効率化、固定費削減や価格改定を継続。
海外 リキッド インキ	▲6.0%	中国は生産販売体制の強化のため見直しを実施。東南アジア・インドは需要堅調でラミネート分野が拡大。特にインドはシェア拡大が進む。サプライチェーン見直しでコストダウンを進める。トルコは、インフレ影響もあり低調も、新工場稼働し、需要がQ2から回復基調。

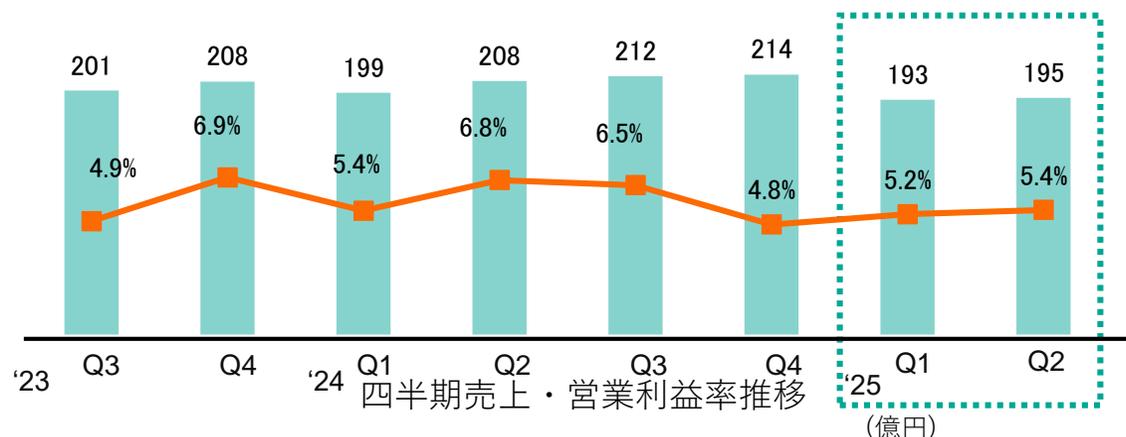
■ **25年下期見通し** 国内は堅調なグラビアに加えカートンフレキソが利益寄与し、品種統合と拡販継続により需要を確実に取り込む。インドは成長取り込みで、更なる生産設備増強へ。

2025年度上半期 事業セグメント概況（印刷・情報）

■ **売上/営業利益** 減収減益。国内は情報系印刷市場は縮小も、機能性コーティングが好調。

実績	24年度上半期 実績	25年度上半期 実績	YonY 増減率(%)	25年度通期 計画 (8/8修正後)
売上	407	388	▲4.8	800
営業利益	25	21	▲16.9	45

(億円)



YonY売上増減	概況
オフセット インキ (一般インキ) ▲10.4%	減収減益。国内の情報系印刷市場は縮小も、生産販売体制の改革継続や物流費なども含めた価格改定の推進により利益改善への取り組みを続ける。海外は枚葉インキが出版、紙器向けで伸び悩む。
機能性 インキ※ ▲0.2%	減収減益。国内はUVインキは商業印刷やカードが好調も、紙器・ラベルなど包装関連は、紙価格高騰により低調。海外は北米で顧客事情でUVインキ出荷低調、高級紙器向けの機能性コーティング剤が好調。 ※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

■ **25年下期見通し** 国内は上期実施のコストダウン、価格改定の効果を見込む。カードは堅調に推移の見込み。海外は特にUVインキで販売強化で拡販すすめる。

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先 ir@artiencgroup.com

■ ウェブサイト <https://www.artiencgroup.com>

■ 主要ニュースリリース

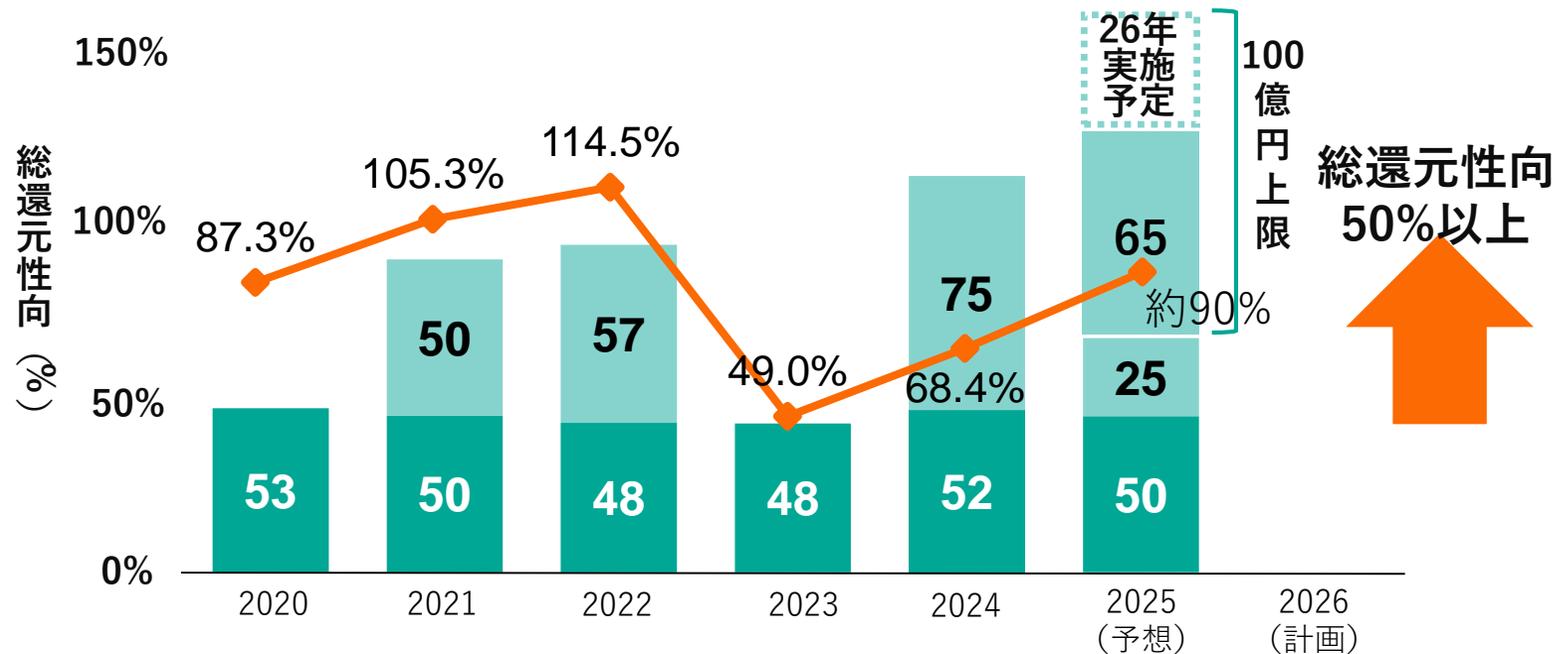
- トヨタバッテリー社向け分散体で「品質不具合ゼロ10年連続達成賞」を受賞（2025年5月27日）
<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25052701.html>
- 統合報告書「artienceグループ 統合レポート2025」を公開（2025年6月27日）
<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25062701.html>
- 物流の効率化と社会課題解決に向け、印刷インキメーカー3社による首都圏での共同配送を開始（2025年7月1日）
<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25070101.html>
- artienceと免疫生物研究所、ライフサイエンス関連事業の事業提携に関する基本合意書を締結（2025年7月1日）
<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25070102.html>

(参考) 中期経営計画artience2027 株主還元方針

■ 総還元性向目標を導入し、利益成長に合わせて株主還元水準の向上を目指す

- 安定配当を基本としつつ、利益達成時のキャッシュの余剰を戦略投資および自社株取得などの株主還元増へ充当する
- 総還元性向50%以上とする

■ 配当総額 (億円) ■ 自己株取得額 (億円) ■ 総還元性向 (%)



1株あたり年間配当金 (円)	90	90	90	90	100	100
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	60	95	93	97	185	155

※2025年5月9日、450万株もしくは100億円上限とした追加の自己株式取得を発表 (取得期間25年5月12日~26年5月11日)。

※2025年度の当期純利益は、8月8日の修正を反映。

(参考) 連結BS・PL概況

(単位：億円)

	2024年12月期 第2四半期	2025年12月期 第2四半期	増減率(%)	2025年12月期 通期予想(修正後)
売上高	1,723	1,687	▲2.0	3,550
営業利益	106	94	▲11.2	190
経常利益	124	86	▲30.2	180
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	55	▲41.5	155
営業利益率	6.1%	5.6%	▲0.5 (point)	5.4%
海外売上高比率	56.0%	54.2%	▲1.8 (point)	

	2024年 12月末	2025年 6月末
有利子負債(億円)	839	761
自己資本比率(%)	55.4	56.6
D/Eレシオ	0.39	0.35

2025年 12月期	中間	期末 (予想)
配当 (円/株)	50	50

(単位：億円)

	2024年 12月末	2025年 6月末	増減率(%)
流動資産	2,453	2,217	▲9.6
固定資産	2,275	2,232	▲1.9
資産合計	4,728	4,450	▲5.9

流動負債	1,395	1,194	▲14.4
固定負債	596	631	5.9
負債合計	1,990	1,825	▲8.3

純資産合計	2,738	2,625	▲4.1
負債純資産合計	4,728	4,450	▲5.9

	2024年12月末	2025年6月末
連結子会社数	56	56
持分法適用会社数	4	5

(参考) 事業別セグメント実績

		2025年12月期 第2四半期 (3か月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較 (%)		増減率 2025年12月期 第1四半期比較 (%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較 (%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	103	2	▲ 4.6	▲ 56.5	14.6	-	193	1	▲ 5.2	▲ 88.6
	海外	159	4	▲ 10.7	▲ 62.9	10.5	873.8	303	4	▲ 7.3	▲ 69.0
	合計	216	3	▲ 8.7	▲ 77.0	9.2	▲ 35.9	414	8	▲ 5.6	▲ 62.5
ポリマー・ 塗加工	日本	142	6	▲ 2.8	▲ 31.3	7.2	128.2	275	9	0.6	▲ 29.5
	海外	113	14	▲ 7.0	16.2	3.6	5.8	222	27	▲ 1.4	25.6
	合計	226	21	▲ 0.5	▲ 3.9	6.6	29.7	438	37	2.8	5.3
パッケージ	日本	121	6	4.0	1.9	4.2	▲ 2.2	237	12	5.5	15.0
	海外	109	7	▲ 7.8	▲ 1.3	4.5	31.1	213	13	▲ 6.2	▲ 11.0
	合計	225	13	▲ 2.1	0.1	4.2	14.0	441	25	▲ 0.6	▲ 0.7
印刷・情報	日本	101	4	0.7	▲ 8.2	7.7	65.9	195	7	0.9	▲ 5.7
	海外	110	7	▲ 10.6	▲ 28.8	▲ 3.4	▲ 8.4	224	14	▲ 6.8	▲ 19.8
	合計	195	11	▲ 6.7	▲ 25.3	0.8	4.5	388	21	▲ 4.8	▲ 16.9
その他		14	1	▲ 1.3	-	10.2	▲ 45.3	26	3	▲ 5.0	-
調整		▲ 9	0	-	-	-	81.8	▲ 19	0	-	-
連結		866	49	▲ 4.3	▲ 21.0	5.4	9.3	1,687	94	▲ 2.0	▲ 11.2

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

(参考) 事業別セグメント実績 (四半期推移)

(単位：億円)

		FY2023				FY2024								FY2025			
		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	101	2	107	2	96	3	108	5	99	0	114	5	90	▲1	103	2
	海外	155	5	147	3	149	3	178	9	156	4	157	4	144	0	159	4
	合計	212	6	205	6	201	8	237	14	212	7	211	5	198	5	216	3
ポリマー・ 塗加工	日本	128	6	140	7	127	4	146	9	143	7	145	4	133	3	142	6
	海外	110	12	99	9	104	10	122	12	117	12	120	13	109	13	113	14
	合計	208	18	206	15	199	13	227	22	223	18	236	18	212	16	226	21
パッケージ	日本	109	3	115	5	108	4	116	6	122	5	126	9	116	6	121	6
	海外	115	8	107	6	109	7	118	8	111	8	124	7	104	6	109	7
	合計	221	12	219	11	214	12	230	13	228	13	244	16	216	12	225	13
印刷・情報	日本	95	2	108	6	93	3	100	5	99	4	107	4	94	3	101	4
	海外	119	8	115	9	117	8	123	9	131	11	119	6	114	7	110	7
	合計	201	10	208	14	199	11	208	14	212	14	214	10	193	10	195	11
その他		13	▲2	15	▲4	14	0	14	▲1	14	▲0	16	▲3	12	2	14	1
調整		▲8	▲0	▲14	0	▲9	▲0	▲11	▲0	▲11	0	▲11	▲0	▲10	0	▲9	0
連結		846	44	839	42	817	44	905	62	879	52	909	46	821	45	866	49

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

(参考) 所在地別セグメント実績

当期実績	2025年度 第2四半期(3か月) 実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2025年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	480	20	▲ 1.1	▲ 19.5	8.2	66.3	924	31	0.1	▲ 17.7
アジア	353	26	▲ 7.6	2.4	3.2	11.1	696	49	▲ 3.0	12.1
ヨーロッパ	80	3	▲ 9.5	▲ 66.7	19.3	-	146	2	▲ 9.8	▲ 81.5
北米・南米	57	4	▲ 15.6	▲ 35.6	▲ 3.9	▲ 10.5	117	7	▲ 13.4	▲ 35.7
調整	▲ 105	▲ 3	-	-	-	-	▲ 196	3	-	740.7

連結	866	49	▲ 4.3	▲ 21.0	5.4	9.3	1,687	94	▲ 2.0	▲ 11.2
----	-----	----	-------	--------	-----	-----	-------	----	-------	--------

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益								
日本	438	14	486	24	477	16	510	19	1,911	73
アジア	335	19	382	25	377	26	369	25	1,463	94
ヨーロッパ	74	3	88	8	73	3	95	5	330	20
北米・中南米	67	6	68	5	63	6	54	1	252	19
調整	▲ 97	2	▲ 118	▲ 1	▲ 111	2	▲ 119	▲ 4	▲ 446	▲ 2
連結	817	44	905	62	879	52	909	46	3,511	204

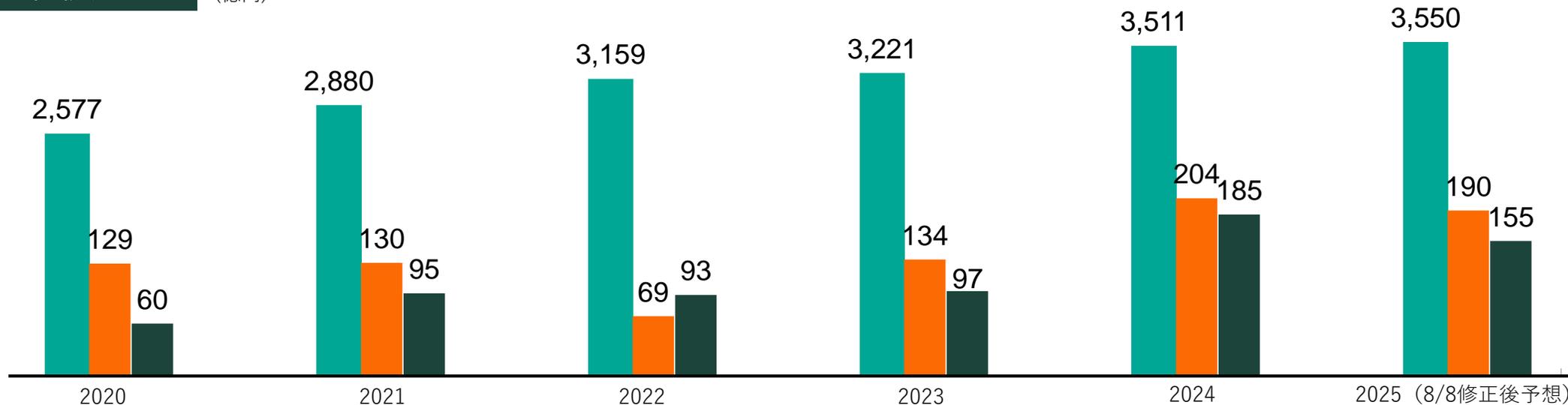
(注) 各所在地の金額は、地域間の取引および全社的な費用を控除していません。

(参考) 補足財務データ

■ 売上 ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

業績

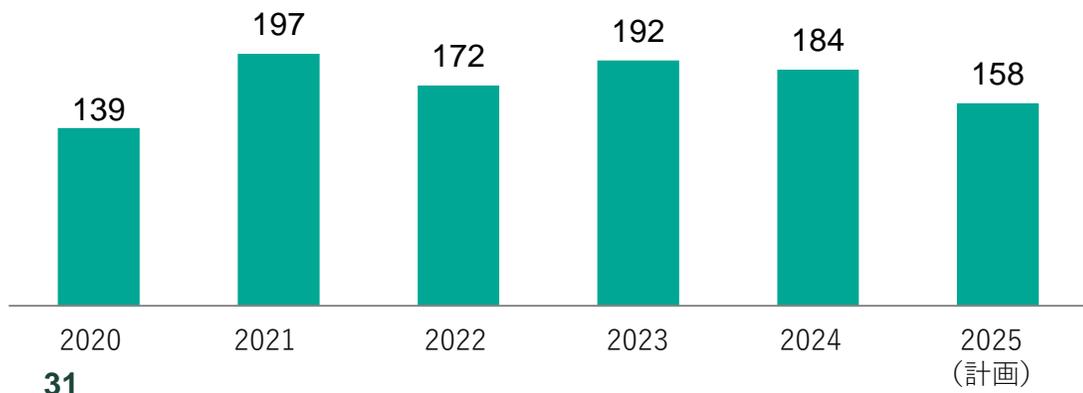
(億円)



設備投資

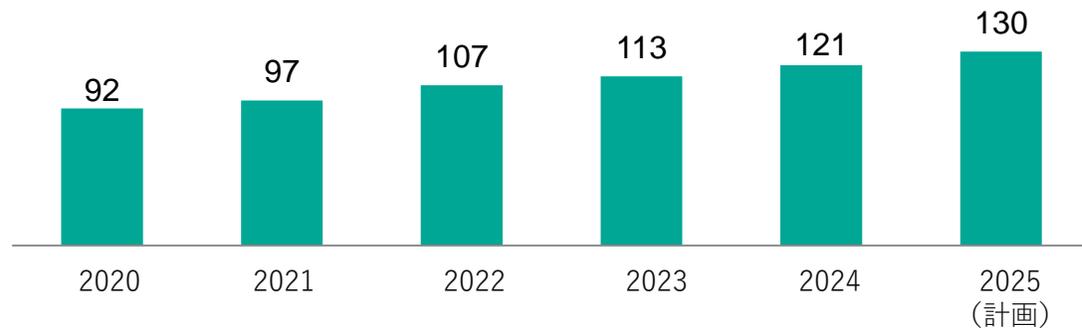
(億円)

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース



減価償却

(億円)



色材・機能材 サブセグメント

サブセグメント		主な製品	主な用途	
CF材料	高機能化成品	高機能顔料 CFペースト	CFペースト レジストインキ	
	表示材料	レジストインキ	ディスプレイ、センサー	
汎用化成品		顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
プラスチック着色剤		マスターバッチ コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
その他		インクジェットインキ	看板広告・ラベル・段ボール	
		機能性分散体	リチウムイオン電池	

ポリマー・塗加工 サブセグメント

サブセグメント	主な製品	主な用途	
塗工材料	接着テープ、機能性フィルム	スマートフォン	
	マーキングフィルム	看板	
接着剤	粘着剤	ラベル、ディスプレイ、自動車、工業材	
	ラミネート接着剤	フィルム包材、リチウムイオン電池、太陽電池	
	ホットメルト	製本、PETボトル胴巻きラベル	
塗料樹脂	製缶塗料	飲料缶、食缶	
	樹脂、ハードコート	印刷インキ、建築塗料、ディスプレイ	
その他	メディカル	貼付型医薬品	
	天然材料	飼料、食品	

パッケージ、印刷・情報 サブセグメント

	サブセグメント	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ、 フレキソインキ	フィルム包材（食品パッケージ、 日用品詰め替え） 建材 サニタリー、段ボール、紙袋
	グラビア機器 ・製版	グラビア機器、製版	
印刷・情報	オフセット インキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器
	機能性インキ	UVインキ 金属インキ スクリーンインキ	紙器、ラベル、書籍 飲料缶、食缶 エレクトロニクス、ステッカー
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、印刷 検査装置	



注意事項：

当社グループによる開示情報には、業績予想や将来予測に関する情報が含まれる場合があります。これらの情報は、開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社グループが判断する一定の前提に基づくものであり、さまざまナリスク要因や不確実な要素により、実際の結果と異なる可能性があります。

当社グループによる開示情報は、ステークホルダーに当社グループへの理解を深めていただくための情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。当社グループによる開示情報に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社グループは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

■ IRスケジュール（予定） ※都合により予告なく変更する場合がございます

- FY2025Q3：決算発表（11月14日）、決算説明会（11月21日）